

## トイレブラシと洗剤収納容器

【技術分野】

生活・文化

【特許番号/公開番号】

特許第 4177444 号

【利用分野・適用製品】

トイレ用ブラシ容器

【ライセンス情報】

実施許諾 【可】 権利譲渡 【否】

【目的】

- ①トイレ便器内掃除の時に使う洗剤使用量を必要最低限ですむように極力減らす。
- ②便器内の掃除を、スムーズに素早くブラシできるように効率的にする。
- ③人・地球に優しい、洗濯用の酸素系・漂白除菌洗剤を使用し、汚れ離れも良くなり、ブラシ及び便器内を容易に常時衛生的な状態に維持する。

【事業化情報】

実施実績 【無】 許諾実績 【無】

【効果】

- ①1回の洗剤使用量が約 1/20 以下となり、量と回数の両面で、洗剤使用の減量が可能になった。
- ②ブラシを除菌して吊り下げ収納。又はブラシを洗剤液に浸して容器内で叩いて液切りして使用。等に選択して使用でき効率良く便器内及びブラシの衛生保持が容易に実現可能となった。

【技術概要】

- ①ブラシ容器上部の前部と後部で高さを変えてあり、にブラシを吊り下げた場合、ブラシと洗剤液の間に間隔が空くように高さを設けてある。又、ブラシを洗剤に浸して置いた場合、ブラシの握手部分が容器内から上に臨むように、前部を低くしてある。
- ②本ブラシ容器の後部の上部は、ブラシを吊るし掛けた場合ブラシがその位置に安定するように凹みを持たせている。
- ③容器下部(洗剤収納部分)は、必要量の洗剤貯留量で済むように細くしてあり、容器底部の洗剤にブラシを浸し置いた状態で、容器上部開口部より目視して、ブラシが洗剤より上に出てくるようになってきたら全部浸るように洗剤の原液を順次補充する。
- ④トイレブラシを容器内の洗剤液に浸し置いて使用する場合、ブラシに付いた余分な洗剤液を叩いて、容器内でスムーズに液切れ動作ができるように、開口部手前に膨出している。
- ⑤容器本体の基台部により安定的に支持するので、トイレブラシが余分な洗剤を液切る動作も安定的に効率良く行える。

【特記事項・図面・その他】

